

『生命、神のたまもの』

胎児の生命の尊厳についてのカトリックの見解

生命、神のたまもの

日本カトリック司教団

科学技術による生命の操作や体外受精など、現代社会の生命倫理に関する多くの問題に対して、カトリックの基本的な教えを示した司教団教書。

発行日: 1984/8/1

判型: B6

ページ数: 30

本体価格: 50

ISBN: 4-87750-019-7

『いのちへのまなざし』

二十一世紀への司教団メッセージ

いのちへのまなざし

日本カトリック司教団

二十一世紀のはじめにあたり、「いのち」が大切にされる社会を建設していくための「出発点」としての利用を願って発表された司教団メッセージ。

離婚、高齢化社会、出生前診断、自殺、死刑、臓器移植、遺伝子操作、環境破壊など現代社会における具体的な諸問題を取り上げ、神の光に基づいた人間の生きるべき姿勢を伝えています。

発行日: 2001/2/27

判型: B6

ページ数: 132

本体価格: 300

ISBN: 4-87750-094-4

<目次>

あいさつ

はじめに

第一章 聖書からのメッセージ

第二章 揺らぐ家族

- 一 夫婦について
- 二 性と生殖、そして家庭
- 三 親子について
- 四 高齢化社会を迎えて

第三章 生と死をめぐる諸問題

- 一 出生前診断と障害者
- 二 自殺について
- 三 安楽死について
- 四 死刑について
- 五 生命科学の進歩と限界
- 六 脳死と臓器移植
- 七 ヒト胚の研究利用・人間のクローン・遺伝子治療
- 八 環境問題

おわりに